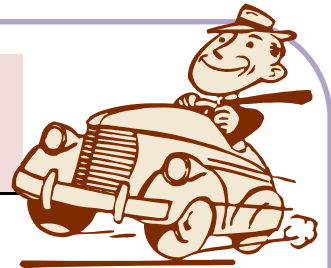


発行 明るいシニアライフを作る会「結」  
責任者 古村 久美子  
住所 大分市敷戸台  
電話 097-504-7858  
No.10 平成23年4月

## 土地見学にいきましょう



- ①わさだタウン近くの土地  
地主も関心は持っているが、調整区域のため、建設目的にかかってくる。  
大分市としては地域住民の役に立つ施設を望んでいる。
- ②椿ヶ丘団地近くの土地

4月29日に皆さんで見学に行きたいと考えています。昼食会も予定しています。詳細は別紙に記載しています。出欠の返事をお願いします。

第13回 「結」のつどい 4月4日 18時～21時  
出席者 古村 秋月 田邊 西田 坂本 植木 園田 谷口  
会場 スマイルゆい

新年度を迎え、昨年の日社済社会福祉助成金交付申請はだめでしたが、今年度こそ飛躍の年にしたいという意気込みで皆さん参加されていました。

～経過報告～

田邊さんから大分県知事宛のプロポーザル参加申込書提出の案内がありました。これは「大分県の新しい公共の場づくりのためのモデル説明書」に基づき、参加申し込みされたそうです。（提案団体5団体以上が必要）

《提案5団体》

大分NPO研究所事務所 明るいシニアライフをつくる会「結」 株式会社まちづくりコンサルネット  
大分県福祉保健部地域福祉推進室 平倉建設株式会社

今年度の活動方針

1、1年後にモデル案を作成

そのために

① 講演会を開催し、改めて「共生の住まいとは」を一般市民に啓蒙する。

② 先進地視察→報告会 ③ ワークショップ開催（モデル案作成）

以上のような活動から新たな仲間を募る。

会の内部では昨年決めた役割（住まい・暮らし方、資金、土地、広報）を実働させ、モデル案の提案をする。

2、土地情報

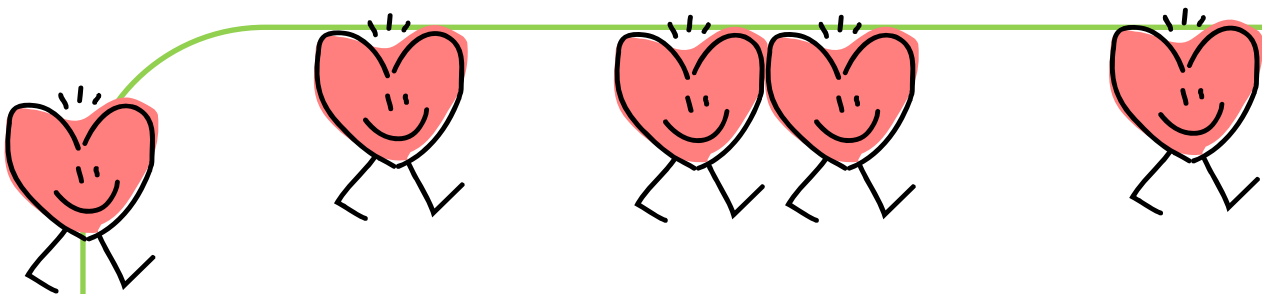
・見出し及び別紙にて記載しています。

3、本の紹介：「我が家の実家」 「終の棲家」 「未来の長屋」

4、COCO湘南台のできるまで

## 5、今後の課題について出席者の意見

- 秋月 共生の住まいをつかって次世代が引き継いでくれるシステムが必要！  
西田 共生の住まいに共鳴する人は多い。早く実現したい。そのために協力し参加する。  
植木 障害者と共に生きる、皆さんがどう考えているか心配。  
園田 障害者の親亡き後の環境づくり、共生の住まいがあると行き先がある。  
田邊 以前から大分で実現したいと考えていた。今年から会員になる。高齢者も障害者と言える。障害者と見ないで考えるといい法人化も視野に入れていきましょう！  
坂本 みんなで役割を果たしていきましょう！  
谷口 共生の住まいには共感するが、いまだ自分が共同生活をしようとする気持ちにはなっていない。ただし、我がままでも一人では生きられない、そんな時やはり仲間が必要になる。今を楽しみながら実現に向けて努力したい。  
古村 COCO湘南台の作り方が参考になると考える。みなさんで主体的に取り組んでほしい。その過程が人とのつながりをつかって、老後の孤立を防ぎ、元気に暮らす源になると考える。



### みんなで創り出しましょう「共生の住まい」

古村

出席者の間では今年度の活動に期待を膨らませつつあります。しばらくお目にかかっていない皆様、初心に戻り一緒に楽しみましょう。自分でつくらないと面白さはありませんよ。定例会の設定も、みなさんが集まりやすい日を考えあぐねました。でも、誰にもよい日というのはあり得ませんので、最大公約数で、改めてこの日も相談して決めました。第4土曜日の午後2時からです。この会の優先順位を上げて頂けるよう活動していく所存ですが、何しろ参加していただかないことには、それもわかっていただけないかと思えます。私は言い出しっぺではありますが、調整役です。今年は飛躍します。みなさんの力をぜひ下さい。（選挙みたいですが）

この度、2つ目の助成申請をしました。WAM（福祉医療機構）の助成です。結果は6月ごろの予定です。盛りだくさんの計画をしておりますので、みなさんのご協力が必要です。諸々、お伝えしたいことはありますが、紙面では言い尽くせないのので、次回お伝えしたいです。

さて、別紙のとおり次回の定例会は、特別に4月29日（金）に土地の見学を兼ねて食事会をします。一緒に夢を膨らませましょう。



文責：古村、谷口